

令和5年度 芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	MOUSA 2 (教育芸術社)						
副教材等	MUSIC NOTE						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅰで学んだ高校音楽の基本から発展的な内容に取り組みます。歌唱でのその曲にあった発声の充実させることや器楽（ギター、リコーダーなど）作曲などでの音楽的な向上を目指してください。自分の表現した音楽につなげられるように意欲的に主体的に取り組むことを期待しています。

2 学習の到達目標

歌唱、器楽、創作、鑑賞において、音楽Ⅰの基本の上に、音楽的な内容が向上することを目的としています。個人で演奏する曲だけでなく、仲間との演奏体験を通じて、生涯にわたり音楽を愛好する心情や態度が身につけていけることを到達目標としています。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技術を身に付け、創造的に表している。</li> <li>・曲想にあった音楽表現ができるように曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。</li> </ul>	音楽Ⅰでの取り組みをいかして、音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持って取り組めること。	音楽Ⅰで取り組んだことをふまえて、音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする事。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	様々な歌曲	「Sehnsucht nach dem Frühlinge」 「浜辺の歌」 「ハナミズキ」	a:様々な歌曲を取り上げ、曲種に応じた発声を行い、芸術的表現に主体的に取り組めること。 b:発声の応用として、ベルカント唱法を目標にして、曲種にあった豊かな表現をめざす。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	演奏の聴取	観察	実技テスト
	リコーダー二重奏	「ソナチネ」	a:アルトリコーダーの基本奏法を確認しながら、正確に演奏できるように主体的に取り組む b:曲種にあった表現をめざす c:曲の内容を理解して豊かな表現をめざす a	演奏の聴取	観察	実技テスト
2	ギター弾き語り	「糸」 「上を向いて歩こう」	a:基本的なコード奏法を主体的に取り組む b:コードの音楽理論の基本を理解して、演奏で音楽的な進行を味わう。 c:基本的な奏法から、弾き語りを行い、豊かな音楽表現をめざす。	演奏の聴取	観察	実技テスト
	音楽史・鑑賞	西洋音楽歴史の重要な作曲家について (ICTを活用した相互の学び)	a:西洋音楽史の重要な作曲家について観点別にポイントをおさえて班単位でまとめる。 b:まとめた作曲家について、Chromebook を使い、観点別にポイントをおさえながら発表及び鑑賞する。 c:西洋音楽史上の功績などについて、発表する側も聞く側も主体的に積極的に取り組む。	レポート発表 ペーパーテスト	Google スライド	レポート発表

※令和4年度以降入学生用

3	音楽作品	ミュージカル「オペラ座の怪人」鑑賞	<p>a:劇作品の歴史や舞台作品の演奏のための裏方や美術、衣装、音楽、バレエなど総合的芸術観点を理解できる。</p> <p>b:劇作品の表現について、総合芸術的な観点で、それぞれの芸術について理解できて表現されている。</p> <p>c:劇作品の総合的芸術としての表現や劇作品の表現について、主体的に受け止め、豊かな感受性を養おうとしているか。</p>	プリント	プリント	観察
	創作	Finale を使って2部形式の器楽曲を作曲(伴奏付き)	<p>a:fianale の基本操作。作曲のための和声学、形式について</p> <p>b:和声進行、形式を踏まえての作曲。</p> <p>c:和声進行やコードを基本にしながらも、音楽的な豊かな表現ができた曲を作曲。</p>	観察	作品	作品の演奏の聴取

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度